

12/30
(月)

命の川の流れ

ヨハネの黙示録二二章1〜5節

天使はまた、神と小羊の玉座から流れ出て、水晶のように光り輝く命の水の川を私に見せた。川は、……命の木があつて、……毎月実を実らせる。その木の葉は諸国の民の病を癒やす。(1、2)

ヨハネが見た新しいエルサレムには、神と小羊の御座から流れ出た川が流れていました。川の両側には命の木があり、多くの実りをもたらしていました。聖書には命を与える川の描写が多く出てきます。創世記にあるエデンの園を流れる川と命の木。エゼキエル書には、神殿から流れ出た大河の様子が描かれています。

「この川が流れる所では、すべてのものが生きる」(四七九)と。主イエスはご自分こそ命の源であるとして、「渴いている人は誰でも、私のもとに来て飲みなさい。私を信じる者は、聖書が語ったとおり、その人の内から生ける水が川となって流れ出るようになる」(ヨハネ七37、38)と招かれました。今も、主イエスを慕い求める人の魂には、天来の命の水が流れ込みます。新しい年も、この命によって生かされる私たちでありたいと願います。